医療科学部 放射線技術学科 1回生 池田 晴

8月18日から24日まで7日間の海外研修で、元培醫事科技大學行ってきました。 そこでの経験を紹介したいと思います。



今回の台湾研修では特に語学力が向上しました。そのように感じた場面は、日本に帰ってきてからのリスニングテストです。台湾に行く前にも行ったテストですが、行く前と帰ってきてからを比べると、テスト後の疲労感が違いました。台湾では、中国語で話すときもありましたが、英語で会話するのがほとんどで、授業も英語で行われました。そのため、耳が英語に慣れることができたのだと思います。私は中国語を履修していなかったため、台湾での会話が非常に不安でしたが、中国語で話すことができなくても英語を使えたため、英語を勉強してきた成果を発揮することが

できました。英語を学んではいても日本に住んでいると実際に使う機会はないため、新鮮でした。"台湾研修 "と聞いて中国語だけを学びに行くものだと思っていましたが、英語も学ぶことができることがわかりました。そのため、中国語などはなかなか自学では手を付けにくいと思いますが、英語であれば勉強しやすいため、日々学習していこうと決意するきっかけもつくることができました。

授業は、英語か中国語で行われました。中国語での授業の時は日本語の通訳がありましたが、英語での授業 の時に通訳はありませんでした。そのため、自分の語学力のなさを痛感することもありましたが、研修の後半

には英語がわかるようになってきて楽しく授業を受けることができました。

朝昼夜ご飯は、元培醫事科技大學の学生と一緒に食べました。最初は台湾の食事にも、食事の最中の会話にも緊張していましたが、慣れてくるにつれて学校生活について、台湾の有名なところ、たわいもない話もできるようになりました。元培醫事科技大學の学生は、この私たちの台湾研修をより良いものにしようと多くの準備をしてくれていたようです。私ができた準備は英語や中国語をさらに学んで台湾に行くことでした。しかし、少し準備不足だと感じたため、このような研修がまたあればしっかり準備をして臨みたいと考えています。



今回の台湾研修を通して、語学力向上はもちろん日本と台湾の違いや自分のこれからの目標が見つかりました。7日間で学んできたことを、これからの大学生活に生かしていきたいです。

医療科学部 放射線技術学科 1回生 井上 峻佑

2019年8月18日~8月24日にかけて、7日間の台湾研修に行きました。私は台湾研修に行くにあたって、台湾の病院・文化などの特徴を学び、日本との違いを理解することを目標にしていました。今回の研修で、行ったことは、①実際の講義に参加する。②学生との交流。③病院見学実習。④文化体験。⑤市内観光。

講義は台湾の大学の歴史の講義と中国語の講義がありました。歴史は現在までの時の流れを知り、中国語は 日常会話を学び、中国語で歌を歌いました。

台湾の学生はとても親切で気遣いができ、努力を怠らない人たちでした。私たちのためにスケジュールを立ててくれて、日本語と台湾語という壁があるにも関わらず、台湾の学生は英語や日本語で積極的にコミュニケーションをとってくれました。私は、台湾語どころか英語も流暢に話せないため、学力の差を感じました。そしてなによりも優しかったです。私たちがよりよい7日間を過ごせるように常に周りを見て気を配っていました。台湾の方のように人に親切で気遣いができるということは診療放射線技師として働くうえで、必要不可欠であると感じました。台湾の方たちは撮影一つにしても、患者さんを思いやり、患者さんにあった声をかけて対応することができると思いました。

病院見学は電子化という言葉が印象に残っています。円滑に病院を回すための工夫がありました。また、病院内には日本の機械や日本の技術があって、改めて誇りであると感じ、うれしく思いました。実際に感じたことを就職活動や今後の糧として頑張っていきたい。

文化体験は二種類のコマを体験した。私個人的に先生からお墨付きをいただけたので、とてもいい経験となりました。観光は日本にはない街並みなどの景色や台湾でしか食べられない食べ物などを堪能できました。 この貴重な体験を可能にしてくれたことに感謝し、これからに生かしていきたいと思います。



謝謝。



医療科学部 放射線技術学科 1回生 上木 雄斗





8月18日~24日にかけて、私たちは海外研修プログラムとして台湾へ行ってきました。私自身、初の海外ということで不安と緊張もありましたが、学ぶことも多くあり自分にとって貴重な経験になったと自負しています。

食文化や生活様式も日本とは少し違うところもありました。

異文化を知ることができた反面、自分には合わない部分も多々ありました。

今回はその時の出来事を少しご紹介します。

台湾初日は空港に着いた後、元培醫事科技大學の学生さんにお出迎えしてもらい、記念撮影を済ませた後、バスで元培醫事科技大學へ向かいました。言葉が通じるか不安でしたが台湾の人たちの中には日本語を勉強している人もいらっしゃって、出会ってすぐに打ち解けることができました。

次の日は中国語の授業とBig cityの観光をしました。中国語の授業は決してお堅い授業ではなく、周りにいる 台湾の人たちと楽しみながら中国語を学ぶことができました。Big cityは日本でいう大型ショッピングモール のようなもので、お土産を買ったりご飯を食べたりして楽しい時間を過ごしました。

また、台湾研修で一番のメインイベントである病院見学は想像とは全く違っていて、最新鋭の設備が整っておりまるでホテルのような綺麗な病院でした。見学させていただいたのは放射線科と検査部門の2つです。

日本と同等か、もしくはそれ以上の設備の良さに驚かされました。医療の現場で働く人間になるものとして海外の病院を見学できたことはこれからの人生の中で大きなキャリアになると思います。





多くのことをこの研修で学ぶことができました。 企画してくれた方々、現地でお世話になった方々全員に深く感謝しています。 どうもありがとうございました。

医療科学部 放射線技術学科 1回生 川合 日向太



私が台湾研修に参加して最も良かったと感じたことは、人生で初めて海外の友達ができたということです。彼らは私たちが台湾に到着した当日、初対面とは思えないほど友好的に接してくれました。台湾に滞在している間、彼らは私たちをいろんな観光名所に連れて行ってくれたり、台湾語を教えてくれたりしました。私たちは彼らと、本当にいい関係を築くことができました。私たちが日本に帰るとき、彼らは空港まで見送りに来てくれました。現地の学生のみんなは本当に優しくて友達思いでした。私は今でも彼らと SNS や電話を使って彼らと連絡を取り合っています。

私たちは夏休み、台湾研修に行ってきました。期間は8月18日から24日の7日間です。私は台湾研修に参加し、多くの経験をし、成長できたと感じています。本報告書では、私が研修を通じて手に入れたものについて報告します。







そして、私は英語を話す能力が向上しました。 台湾の学生の中には、英語がとてもうまい人がい て、彼らと英語で話すことで、私は台湾に行く前よ りも格段に流暢に英語を話せるようになりました。 大変貴重な経験になりました。 また、私は台湾の文化に触れました。台湾には私の大 好物が多く、マンゴー、小籠包などのローカルフード をたくさん食べて、幸せでした。ほかにも、中国の伝 統的なコマに挑戦したりもしました。とても有意義で 楽しかったです。



医療科学部 放射線技術学科 1回生 菊澤 梨花

8月18日~24日の7日間、海外研修で台湾に行ってきました。今回の研修では主に元培醫事科技大學の学生との交流や台湾文化の体験、病院見学を行いました。



今回の研修では2つの病院を見学しました。患者という立場以外で、働いている人や医療機器を間近で見るのは初めてでした。実際に検査している状況を見学して、このようにして病気が判明していくのだと実感しました。それと共に、放射線科の役割が非常に重要であり、やりがいのある仕事だと感じました。

また、医療現場で使われているシステムや医療機器の仕 組みを聞いたり、触れたりしました。

台湾の伝統的な遊びを経験しました。ディアボロを元培醫事科技大學の学生に披露してもらった時、単純な動作のように見えました。しかし、実際にやってみるとコマを扱うことが難しかったです。その分、上手に扱うことができると楽しく、達成感がありました。

観光では台北 101 や夜市、九份に行きました。夜市、九份は想像以上に屋台が多く、賑やかでした。そこでは日本にはない食べ物も売られており、様々な台湾料理を食べることができました。

今回の研修を通じて、台湾について様々なことを知ることができました。現地の人は英語も日本語も話せる人が多く、私自身も今まで以上に外国語を勉強しようと思いました。病院見学や国際交流等、貴重な体験をすることができ、海外研修に参加して良かったと思います。



医療科学部 放射線技術学科 1回生 岸本 龍虎





台湾での海外研修は、私にとって新しい経験ばかりで本当に充実したものでした。8月18日に日本から足を離した時の自分と、8月24日に再び日本の地に足をつけた時の自分では、大きく価値観が変わっていました。

まず台湾に着いてから実感したのは、食文化の違いです。私にとってこの研修が初めての海外経験だったので、食の違いが果たしてどのようなものなのか気になっていましたが、本当に驚きました。硬水と軟水の違いや食べるものそのものが違ったりと、食についての新しい発見が多くできました。

最近流行りのタピオカも、日本のものより安く美味しかったです。私が一番感動したのは小籠包でした。是非皆さんにも食べてほしいです。

二回にわたる病院見学は、とても有意義な時間でした。病院の機能、役割について違いはありませんでしたが、些細なシステムやモダリティ、棟内構造など、日本の病院とは異なる部分も多く見識を深めることができました。清掃もいきわたっており清潔感のある綺麗な病院で、患者の方々も過ごしやすそうな印象を覚えました。やはりこの様に、実際に現地に赴いて海外の医療に触れるということはなかなかできない経験です。また、狭い知識にとらわれないためにも、今回の病院見学は本当に有意義なものであったと考えます。

観光についても、これ以上ないという程楽しめました。BIG CITY や夜市、淡水などを訪れ、そのすべてにおいて歩き疲れるほど満喫することができました。これぞ海外だな、と感じる風景や建築物も多々あり目を奪われるばかりでした。特に印象深いのは九份で、千と千尋の神隠しの舞台になったと言われる街並みは、まさに映画の様でとても綺麗なものでした。さらに行きたい場所も残っているので、また機会があれば個人的に台湾に行きたいです。

私たちがこの様に素晴らしい海外研修の時を過ごせたのは、周囲の方々の協力のおかげです。元培醫事科技 大學の学生ボランティアの方には特に現地でお世話になり、「謝謝」と感謝の意を示すと共に、私も同じ様に 色々な人に親切にしようと思うことができました。この貴重な経験を活かし、これからの自身の夢に向けて 日々邁進しようと考えます。



医療科学部 放射線技術学科 1回生 嶋本 有里

私にとって大学に入学して初めての夏休みでの海外研修。緊張と不安の中、6 泊 7 日の旅に参加させていただきました。今回参加するにあたり、個人的に「異文化に触れ語学を学び人間的に成長する」という目標を持って出発しました。大学に入学してすぐに応募したこの研修は、この研修を通して大学の友達との絆も深まる良い機会になりました。また、台湾初日の自己紹介の時には全く顔と名前を覚えることが出来なかったけれど、帰国した時には全員の顔と名前がわかるようになっていました。



台湾についた初日はグループのみんなと旗を作りました。 現地の台湾の方と慣れない英語を使いたくさんコミュニケーションをとることができました。台湾の方は母国語以外にも英語や日本語など二か国語喋れる方がたくさんおり、台湾では国際系の学部以外でも第二言語に力をいれているのかなと思いました。

台湾での海外研修では普段体験することのできない海外での病院 研修や英語で放射線の講義を受講したりすることができました。

私は、特に日本と台湾の文化の違いに驚きました。

台湾では大型ショッピングモールや空港以外のトイレではトイレットペーパーをトイレに流さずごみ箱に捨てることが当たり前なことに衝撃を受けました。日本では当たり前なことでも海外では当たり前じゃないんだなと改めて文化の違いを感じさせられました。

今回この海外研修に参加させていただいて、たくさん の人に出会い、繋がりが出来て、海外に友達を持つこ とができ参加してよかったなと思いました。

今回個人的に立てた目標は達成でき、素敵な時間を共 有することが出来ました。

今回の海外研修で学んだことをいかして、視野を広げ て頑張っていきたいと思いました。



医療科学部 放射線技術学科 1回生 下田 萌華

8月18日から24日の7日間、台湾での海外研修に参加しました。この7日間で様々な貴重な体験をすることができました。



中国語講座では、中国語を全く話せない状態で参加したので、不安がありました。中国語の発音はとても難しく、なかなか正しい発音で話すことが出来ずにいました。しかし、元培大学のボランティアの方たちが細かい所まで丁寧に教えてくださり、最終日には簡単な自己紹介をすることや、"ゾウさん"などの歌を歌ったりすることが出来るようになりました。ボランティアの方たちともちょっとした挨拶を中国語で行うことができ、とても楽しく学ぶことが出来ました。

病院訪問では、中国医学大学病院と台安病院へ行きました。どちらの病院も最新の機器や設備が整っていて、 患者さんが安心する、リラックスできるような空間でした。日本と似ているところや、違うところを実際に見 て感じることが出来たいい経験になりました。

観光は、夜市や千と千尋の神隠しの舞台でもある九份、淡水など様々な場所に行きました。ボランティアの方たちが私たちの行きたい場所や、有名な場所に連れていってくれました。

小籠包やタピオカ、マンゴーなど台湾の有名な食べ物・飲み物を楽しむことが出来ました。海外で何かを一人で注文することや、何かを買うことは初めてでした。不安もありましたが、うまくいくことができ、良かったです。

最初は、コミュニケーションをとれるかどうか、ボランティアの方たちと仲良くなれるかと少し不安が



ありました。しかし、実際に行ってみると元培大学のボランティアの方たちが日本語で話しかけてくれて楽しくコミュニケーションをとることができました。日を重ねていくにつれて、自分から積極的に声をかけられるようになりました。

この研修を通して、様々なことを学ぶことが出来ました。実際に来てみないと分からなかったな、と感じるものがありました。台湾の子と友達になれて、一緒に参加したメンバーとの仲がより深まってとても嬉しかったです。充実した7日間を過ごすことができ、改めて参加することができて良かったなと感じました。

この研修に携わっていただいた全ての人に感謝しています。ありがとうございました。

この経験をこれから生かしていきたいです。









医療科学部 放射線技術学科 1回生 白方 裕理

私は8月18日から24日の7日間、海外研修として台湾に行きました。今回の研修では、中国語講座、病院 訪問、台北ツアー、学生との交流などを行いました。



まず、中国語講座についてです。私は、大学の授業では中国語を選択しておらず、ドイツ語を選択しています。そのため、初めは授業についていけるか少し不安でした。しかし、先生や現地の学生が優しく教えてくれたため、楽しく授業を受ける方ができました。また、現地の学生が一人一人に発音なども教えてくれたため、発音の仕方もあまり困ることなくできました。

次に、病院訪問についてです。この研修の間に中国医学大学病院と台安病院の2つの病院を訪問しました。どちらの病院も私が想像していたよりも大きく、とても綺麗でした。日本の病院と台

湾の病院とを比べて、どちらの病院の方が発展している、劣っているなどあまり差はなかったように感じました。私が病院訪問で印象に残っているのは、病室です。一人用の病室はとても広く、いろいろな設備が整っていました。また、点滴の袋を入れるためのものが壁に取り付けられていました。それは日本の病室とは違う点であったので印象に残っています。



次に、台北ツアーについてです。台北ツアーでは4日目の午後に台北101と夜市、5日目に九份と淡水へ行きました。夜市や九份、淡水など屋台や飲食店が多いところでは、香辛料の独特な匂いがしていました。九份には、「千と千尋の神隠し」のモデルとなった建物があり、そこにも行きました。そこは特に日本人の観光客が多かったように感じました。台北ツアーでは、街並みなどにおいて日本と台湾の大きな違いがあったように感じました。

最後に、学生との交流についてです。私は、この研修で学生 との交流で最も一番多くのことを学ぶことができたと考えま

す。私は、積極的に英語を使ってコミュニケーションを取ることを目標にしていました。現地の学生の中には、日本語を話すことができる子もいましたが、基本的に英語でコミュニケーションを取っていました。私にとってこの海外研修が初めての海外であったので、自分の英語が相手に通じるのか不安でした。しかし、全く通じないというかとはなかったため自信になりました。通じなかったとしてもお互いが中国語を調べたり、日

本語を調べたりして積極的にコミュニケーションを取れたと考えます。また、自分の英語に少し自信がついた
とともに、もっと話せるようになりたいとも考えるようになりました。現地の学生も年齢が同じくらいなの
に、日本語がとても上手な学生や、英語が上手な学生がいたことにとても刺激を受け、そう考えるようになり
ました。
今回の海外研修で学んだことをこれからの生活に活かせるようにしていこうと考えます。

医療科学部 放射線技術学科 1回生 髙島 康生

私は2019年度の台湾研修に参加しました。8月18日から同24日の7日間でした。私が台湾研修に参加した理由は異文化交流を通じてコミュニケーションをとることは感受性を高めることが出来ると考えたからです。

台湾に着くと日本とは空気のにおいが違うことや京都や大阪よりも涼しいことに気が付きました。現地の空港では元培大学の生徒の皆さんがお出迎えしてくれました。



それから、バスで大学に移動し、初日が終わりました。

二日目の朝には中国語の講義がありました。私は中国語を履修していないので少し不安を抱えていました。発音の仕方や、 挨拶、歌や自己紹介などを先生が分かりやすく、また分からなかったり発音で苦しんでいると元培大学の学生さんが手助けしてくれたので楽しみながら学ぶことが出来ました。

午後からは文化体験がありました。中国コマとディアボロの 体験でした。バラエティー番組でも放送されたこともありいつ かやってみたいなと思っていたのですが、まさかもう出来ると





は思ってもいなく て興奮しました。 お手本で実演され 簡単そうに見える のですが、実際に やってみると難し かった です。

三日目は中国医学大学病院に行き、見学させていただきました。日本の病院よりも明るく清潔感があるきれいな病院でした。CTやMRI、そして

病室などを見させていただきました。病院には機械や施設だけではなく患者さんや診療放射線技師をはじめとする医療従事者が居られるので、より自分が働く姿を想像しやすく、より勉学意欲が湧きました。

その後 Big city というショッピングモールに行きました。

そこではタピオカドリンクを飲みました。日本のタピオカドリンクよりもはるかに美味しく、安くびっくりしました。なんと日本円に直すと 100 円強程です。晩御飯はフードコートで水餃子を食べました。

四日目は台安病院に行き、見学させていただきました。ここでもCTやMRI、そして病室などを見させていただきました。検査中の患者さんの様子や検査の時の技師の姿を実際に見させて頂き、本当に貴重な機会でした。その後台北を観光しました。

五日目は九份と淡水を観光しました。九份が千と千尋の神隠しの舞台の一つという事は知っていましたが、そのこと以外は何も知らずどのような場所か楽しみでした。赤い提灯が見渡す限り一列に並ぶのが素敵で、特に階段では綺麗でした。そしてたくさんの屋台では見たことも無い物が沢山在り見ているだけで楽しかったです。九份では小籠包を食べました。勿論おいしかったです。次に淡水に行きました。淡水と言う地名ですが、実は海なのです。船に乗り海風がとても気持ち良かったです。また淡水でも屋台が多く楽しかったです。

六日目は中国語の講義を受け、"風になる"を中国語で合唱しました。その後送別会をしました。元培大学の



生徒の皆さんが歌やダンスを披露してくれました。私たちもダンスを披露しました。最後は皆で歌ったり記念撮影したり感謝の言葉を伝えたりしていました。

そして最終日、元培大学の生徒の皆さんは空港までお見送り にきてくれました。お別れをするのはとても悲しかったです。

数えきれない程の貴重な経験と多くの感動を得る事が出来、非常に有意義な7日間でした。この台湾研修に携わっているスタッフの皆さんと元培大学の生徒の皆さん、そして両親に感謝します。本当にありがとうございました。





医療科学部 放射線技術学科 1回生 出水 かな

8月18日から24日までの7日間、海外語学研修に参加しました。

台湾の夜市では小籠包を食べました。お店の 方が注文が入ってから具を皮で包み蒸してく れるため、出来立てを頂くことが出来ました。 また日本で今人気のタピオカミルクティーも 飲みました。日本だとジュース自体が甘いこ とが多いですが、台湾ではタピオカが甘くド リンクが甘さ控えめであるところが日本とは 違いました。



淡水ではスターバックスに行き、夏季限定のスイカ&ライチ&アロエフラペチーノを飲みました。カップの上から順に赤、白、緑の三層になっているため、味だけでなく見た目も楽しめるドリンクでした。



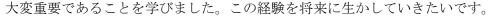


夜は台湾のボランティアの方と一緒にババ抜きをしました。台湾にも同じゲームがあるためとても盛り上がりました。また台湾には私たちが知らないトランプを使ったゲームがあり、ボランティアの方が分かりやすくルールを教えてくれたおかげで楽しく遊ぶことが出来ました。

中国の授業では自己紹介や歌の練習をしました。特に難しかったのは日本語に ない音の発音です。すぐに覚えることが出来なかった私にボランティアの方が できるまで丁寧に教えてくれました。

驚いたことは台湾の人の 10 人に 1 人が菜食主義者 (ベジタリアン) で、そういった方々が食べることのできるものには中国語でベジタリアンを意味する「全素」マークを表示していることです。例えば、「維力炸醤麺」というカップラーメンには普通の人向けとベジタリアン向けの 2 種類が販売されていました。そのような配慮がなされていることに驚きました。

台湾に出発する前は海外で 1 週間生活することが不安でした。しか しボランティアの方が話しかけてくれたおかげで少しずつ不安が取 り除かれていき、とても充実した 1 週間を過ごすことが出来ました。 話す際は言葉とジェスチャーを用いて相手に伝えようとすることが







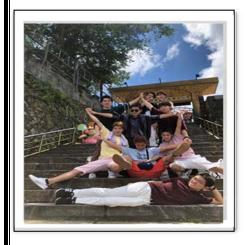


医療科学部 放射線技術 1 回生 中野 大地

2019年の8月18日~8月24日の7日間海外研修として台湾に行きました。

台湾に行く前は、日本語と中国語がメインと聞いていましたが実際行ってみると英語で話すことが多くてとて も英語の勉強になりました。

私自身、英語があまり得意ではなく、研修が始まってから2日間は日本の友達といることがほとんどで向こう



の人も日本語を話せるということで日本語でずっと話していました。3日目に初めて台湾の街に出たときに日本の学生と台湾の学生の班で行動しました。台湾の学生は日本語がわからなく英語で話すしか方法がなく英語で話しました。今まで避けていたので本当に伝わるのか不安でしたがなんとか自分の伝えたいことを伝えることができました。しかし、自分の英語力では伝わらないことも多々ありましたが、ジェスチャーを使って乗り越えました。

台湾で病院見学もさせていただきました。台湾の病院は私が想像している以上に大きかったです。病院ができて1年もたっていないところだったので非常にきれいでした。

また、採血したものをわける作業を人が行うのではなく全て機械で行われていました。

放射線科のところも見学させていただいきました。私たち1回生にはあまり機械を近くで見たりする機会がないのでとてもいい経験になりました。また、実際に検査している場面をみることができました。放射線技師がマイクを通して検査している姿が印象に残っています。台湾の病院で働いている放射線技師は髪の毛を染めていたり、つけまつげをつけたり、スカートの丈が短かったり日本では見られないことが多々あって文化の違いを感じることができました。

台湾観光もしました。私たちはBIG CITY・九ふん・ 淡水・夜市にいきました。

一番印象に残っているのは九ふんで千と千尋の神隠し の舞台になっているところです。とても雰囲気のある 場所できれいでした。そこで食べた小籠包は今まで食 べた中で一番おいしかったです。

この研修では体験できないことがたくさんできて良かったです。



医療科学部 放射線技術学科 1回生 原 一史



8月18日~24日にかけて、台湾に語学研修に 行きました。私は台湾で多くの体験を経て 様々なことを学びました。

まず初日は、台湾に行くための時間にほとんど費やしました。関西空港から、台北空港まで約三時間かけて、そこからバスで一時間ほど、に元培大学に行きました。そこでは、台湾の学生のボランティアの方達との交流があり、様々なイベントを楽しみました。中国語の勉強や、中国ゴマなどの伝統的なおもちゃ、卒業生の方達によるお披露目会など非常に新しい刺激を受けました。

次に、台湾での食事です。はじめ台湾のお茶を飲んだ時に非常に甘くそれを疑問に感じていると多量の砂糖が入っていることを知り衝撃を受けました。他には、日本の食べ物と味付けが全く違うところにも、慣れるのに時間がかかりました。しかし、慣れていくとその味が癖になり、最後には日本食に違和感を覚えてしまっていて少し怖くなりました。

台湾での病院実習では、見ることがない施設や機械を見学させてもらい貴重な体験となりました。台湾の医療の歴史や日本との医療における関係性など、普段知ることができない知識を知ることが出来て非常に良かったです。

この語学研修を経て、国外の人達とのコミュニケーションを取ることは容易ではないと経験が出来るのもこのような機会無しでは出来ないと思います。台湾での経験を将来の診療放射線技師になるための糧に少しでもなればいいと思いました。



謝謝。

医療科学部 放射線技術学科 1回生 山内 健聖

私は2019年度の台湾研修に参加しました。8月12日から24日までの七日間でした。 私が台湾研修に参加した理由は異国の人とコミュニケーションをとり自分の英語力がどれだけあるのかためしたいと考えたからです。また、異文化に触れてみたいと考えたからです。



台湾での一日目は現地の元培大学に行きました。空港からは台湾の学生も一緒でした。バスの中から台湾の風景を見ていると高層ビルが日本よりも多く感じた。そこら一体高い建物ばかりで驚嘆した。大学に着くと台湾学生の方たちが学内を案内してくれました。敷地面積が広大で移動がとても大変でした。学内には、多くの放射線機器が置かれておりとても興味深かった。その後は、演奏家が歌を歌ってくださり心地よかったです。

二日目は中国語の講義がありました。私は中国語を履修していたため、自分の実力を試したいと思いながら授業を受けました。わからないところや発音は台湾人の方が教えてくださりとても助かりました。これを機に台湾の方との仲がより深まったと感じました。その後台湾の文化体験を受けました。そこでは、中国ゴマを披露してくれました。なんとイッテQでみやぞんにコマを教えた師匠に会うことができました。コマ体験をさせてもらいましたがあまりにもはまりすぎてサークル作るゆってたぐらいです。



三日目は中国医学大学病院に行き、見学させていただきました。病院内はとても広くとても清潔でした。技術が日本よりもとても進んでおり多くのものがAIにより稼働していました。将来、最先端の機器がそろった環境で働きたいと考えている私は見学していて興味深いことが多々ありました。この病院見学をすることで勉学意欲が高まりました。

その後 big city という大きなショッピングセンターに行きました。そこではタピオカを食べました。日本とは値段も味も大違いでした。値段は日本の半分ぐらいでとても安かった。夜はここで水餃子を食べました。本場ということもありとても美味しかったです。



五日目は九分や淡水に行きました。千と千尋の神隠しの場所であり提灯や屋台が並んでいてきれいでした。山高いところで海が見えていので美しかったです。淡水には船に乗っていくのですが、その船からの景色も絶景で風も心地よかったです。



今回の台湾研修は自分にとって大きくプラスになったと思います。異文化交流やコミュニケーション力など多くの面で向上できたと思う。台湾の方は本当にやさしく自分たちが困っていたり悩んでいたりしたら声をかけてくれて助けてくれたりして感謝しきれないぐらいです。今後もいつか台湾に行きたいと思いました。

医療科学部 放射線技術学科 1 回生 米原佳穂

8月18日から24日までの1週間の台湾での海外研修に参加しました。研修中では、病院見学、文化体験、観光、など様々な体験をすることができました。



文化体験では、元培大学の先生による中国語講座がありました。基礎からわかりやすく中国語を教えてくださったため、楽しく学ぶことができました。学生同士で教えあったり、元培大学の学生さんから教えてもらったりと、交流の機会にもなりました。

病院見学では、台湾の病院の中を実際に見ることができた。 病院の先生が、機械や病室のことから、予約などのシステム に関することまで丁寧に説明してくださったため、とても勉 強になりました。実際に、日本の機械を見た経験が少なかっ たため、比較することができなかったことが残念でした。こ れから先、機械を使うようになった際に違いなどにも注目し ていきたいです。





観光では、千と千尋の神隠しの舞台になった九份や、淡水、 夜市などに、行きました。元培大学の学生さんが一緒にまわったため、安全に楽しく観光することができました。雑貨屋 さんに行ったり、マンゴーかき氷、タピオカジュースなど台 湾らしい食べ物を食べたりしました。





今回の海外研修を通して、台湾での文化や病院に関して体 感しながら学ぶことができました。様々な素晴らしい体験 ができたのは、この研修旅行に関わってくださった京都医 療科学大学の先生、事務の方々また、元培大学の先生方、 学生さんたちのおかげです。本当にありがとうございまし た。



医療科学部 放射線技術学科 1回生 藁部 蒼大



8月18日から24日までの一週間、海外研修として台湾に行ってきました。今回の研修で行ったことは、①中国語の授業を受講する。②学内見学③病院見学そして、④観光です。

実際の中国語の授業を受講し、初歩的な授業のみでしたが、現 地の学生と交流しながらの授業であった。従って、より内容の 濃い授業であり、日本で行う授業よりも有意義なものでした。 台湾の大学見学では、様々な施設をけんがくし、私の大学には ない、その場所の記念品などが、置かれており、歴史ある学校 であることを認識することができました。

現地の学生

と会話するときは、英語で話すことがほとんどでした。現地の学生は日本語ができるので私たちは日本語で話しても問題ないと聞かされていましたが、英語のほうが得意とのことだったので英語での会話に励みました。そこで台湾ではありますが、英語は世界共通語ですので、英語の向上がはかれました。特にリスニング能力においては最終日にはほとんど聞き取れるようになっていました。





そして、台湾の病院も見学させていただくことができました。 二つの病院を見学し、一つは出来たばかりの病院でシステム も新しく、昔から存在する病院の欠点をなくしたかのような 病院でした。しかし、最新のシステムであっても欠点をいずれ 見つけだされまた新しくなっていく。そういった事を考えさせ られる見学でした。 観光に関しては初めて訪れる地ですので、楽しい気持ちがなくなる事なく、常に興味津々の状態で観光することができました。その間、現地の学生が案内をしてくださるのですが、その時の英語の会話もいつも以上に楽しみながら話すことができました。観光では、日本との違いに驚かされる事が多々ありました。特に食べ物や交通面に関しては考えさせられました。いかに日本という国が過ごしやすい場所であるかわかり、同時に台湾の方の心の優しさに触れ、これもまた日本では経験できないことだとおもいました。

そのこともすべて含め、今回の台湾研修は非常に楽しく、自分の知識や 考えを改めることができる有意義なものだと感じました。 ありがとうございました。







医療科学部 放射線技術学科 2回生 安随 琉斗

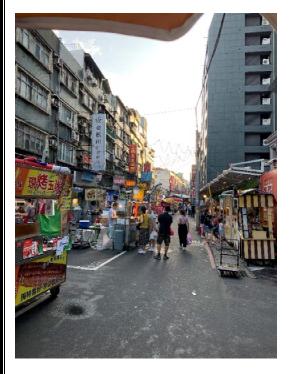
私は、観光と研修と異文化交流の充実した 7 日間を台湾で 過ごしました。

台湾の元培医事科技大学から参加したボランティアの学生た ちのなかには、流暢に日本語を話せる方もいてコミュニケー ションをとるのにそこまで難しくありませんでした。

言語が違っても身振り手振りで意思疎通ができ、これも海外 研修の醍醐味の一つなのかなと思いました。

1日目は、現地の空港で向こうの学生が出迎えてくれてバスまでの案内などをしてくれた。 夜に初めて台湾料理を食べたが、八角という香辛料がなかなか口にあわず、初日にして日本食がこいしくなりました。





2 日目は、中国語の授業を受けた後、台湾の文化体験としてディア ボロやこまを体験させていただいた。

3日目、4日目はそれぞれ別の病院内を見学させていただき、MRIなどの検査機器も見せていたただいた。夜にはショッピングモールや夜市で晩御飯をたべました。日本人の口に合う食べ物もたくさんあった、ただ臭豆腐だけはどうしても無理でした。

5 日目には九分や淡水では、台湾の学生が案内してくれて千と千 尋の神隠しのモチーフとなった場所でも写真を撮ったり、おいしい ごはんも教えてもらい観光を存分に楽しみました。



6日目は、2度目の中国語の授業をうけ、その後

活動していたグループでの活動内容をまとめたポスターを作成しました。夜には送別会を開いてもらいそれぞれの出し物を披露しあいました。 最後に1週間の思い出のビデオをみんなで見ました。見た後、多くの人 と写真を撮りました。

長いと思われた1週間もあっという間で台湾では多くの友人と思い出ができました。この研修は私の人生において忘れがたいものとなり、言語が違っても分かり合おうとすれば、そんなものは何の障害にもならないことを改めて実感しま



医療科学部 放射線技術学科 2回生 岩本 紗耶香

8月18日から24日までの7日間、海外研修に参加し台湾に訪れました。元培醫事科技大學の学生と一緒に充実した楽しい7日間を送ることができました。



台湾の空港に着くと現地の学生が出迎えてくれました。 そしてバスで元培醫事科技大學に向かいました。到着後 は各班顔合わせをし、自己紹介などをして仲を深めまし た。皆さん親切で日本語で会話することもできたので、 すぐに打ち解けることができました。

観光では台北と九份、淡水に行きました。台湾の街中は 独特のにおいがしていました。

台湾の有名な食べ物を食べたり、見たりしました。本場 の小籠包はすごくおいしかったです。

台湾の学生が私たちのためにいろいろなことを考えて、 案内してくれてとても楽しむことができました。









小籠包



ICE MONSTER

今回研修旅行に参加して、台湾の文化に触れたくさんのことを学びました。台湾に行くまではとても不安だったのですが、現地の人はとても優しく色々なことに気を遣ってくれました。そのおかげで不自由なく楽しく充実した7日間を過ごせました。

普段はできないような貴重な体験ができ、私にとって大切な思い出になりました。今回学んだことをこれから 先も生かしていきたいと思います。ありがとうございました。



医療科学部 放射線技術学科 2回生 打田 一成

8月の18日から24日までの7日間、海外研修として台湾の元培医事科技大学に行ってきました。今回の研修で行ったことは①実際の講義に参加する。②学生との交流。③病院見学。④市内観光です。



8月19日

実際の講義として陳先生のよる中国語と会話の講義を体験しまし、ピンインや四声などの初歩の知識を入念に勉強しました。講義を受ける中で日本の大学と海外の大学と違いとして、講義の中ですら基本的に前に出て発表するなどして、普段の生活からプレゼンテーション力などの力をつける取り組みを取り入れていると感じました。



午後からは、文化体験として台湾の投げゴマと中国ゴマ (ディアボロ) の体験を行いました。台湾の投げゴマでは地面に置かれた的の中にコマを投げ入れることができたら投げゴマをプレゼントされるのでみんな躍起になって投げていました

もちろん自分はこまをゲットできました!!!!!!!

8月20日は医療機関研修として中国医学大学病院へ見学をしに行きました。この病院は去年設立されたばかりで中国の最先端の機材を揃えているそうです。また見学の際に、壁紙を茶色などの目に優しい色に統一するなど、患者さん第一に考えられていると感じました。



8月21日

前日と引き続き、医療機関研修として台安病院に見学させてもらいました。

こちらの病院は歴史があり、出版社と提携を結んでいるなど幅広 く活躍している病院です。この病院では実際に患者さんに提供し ている病院食を昼食に提供していただきました。





8月22日

丸一日夜市の観光をさせていただきました。

観光の際、現地の学生が案内も兼ねて一緒に観光していただけたので、安心して海外の市場を楽しむことができました。 その上現地の学生さんは親切な人が多く、積極的に話しかけていただけたのですぐに仲良くなれ、日本に帰宅してからも連絡を取り会えています。

8月23日

台湾研修の最後の活動日であり仲良くなった人たちと最後の交流を図りました。

最終日ということもあり、中国語の講義でも中国で広まっているバンブーダンスを現地の人を交えて体験させていただいたり、日本の曲を中国語に吹き替えたものを一緒に歌うなど、思い出づくりに力をいれた活動を多く取り入れていただきました。

その後の送別会では今回の台湾研修を行ったことを表彰していただき、研修を通して自分が学んだこと や今後どう生かすのかを発表しました。また、各大学が事前に練習していた出し物を発表しあい、送別 会を盛り上げました。





医療科学部 放射線技術学科 2回生 澤田 知佳



海外研修旅行に参加し、7日間台湾に行ってきました。今回の研修には、異なる文化、異なる言語の地での意思疎通の図り方を考え、身に付けることを目標に参加させていただきました。今回の研修では、文化交流、病院見学、観光、と大きく分けて3つの活動が行われました。

台湾の学生と共に、台湾の伝統芸能を体験しました。初めは 台湾の方々とどう接すれば良いか分からず不安でしたが、一 緒に体を動かし、教えてもらいながら体験したことで自然と コミュニケーションを取ることができたことで、言語が違っ ても一緒になにかをすることが出来るということを体感する ことができました。



病院見学では、2つの施設に行きました。台湾の医療の制度



や病院の目指しているところを学び、院内を案内していただきました。半年前に新しく建てられた病院では、病院の目指す姿を実現すべく、数多くの設備が徹底的に整えられていることがよくわかりました。検査機器についての説明もして頂きましたが知識不足ではっきりとは分かり得ない事が多く、また機械についての勉強

をしてから見学に行きたいと思えました。

5.6 日目は皆で観光に行きました。おすすめのお土産を教えて もらい、美味しいお店を教えても

らい、写真を撮るなど、台湾の文化に触れつつ思い出も作る事ができ、とても良い経験ができ ました。





この経験を忘れずに、自分の目指すような診療放射線技師になれるよう努力したいと思います。

医療科学部 放射線技術学科 2回生 白井 汰一



台湾では文化交流と中国語の学習と台湾の病院見学を行いました。医療機関研修では中国医学大学病院と台安病院に見学に行きました。今回が自分にとって初めての海外であり日本とは違う文化や言葉違う環境でした。台湾の病院では最新型の医療機器がそろっておりスムーズに診察や検査ができるようなシステムが様々あった。病院のオリジナルで考えたものや他国から輸入してきたものを使用し質の高い医療を提供していた。一番驚いたのが病室の質の高さである。テレビがありユニットバスがあり窓は大きく快適過ごせるスペ

ースがなされていた。また、放射線科では実際に器具に触れたり CT 検査をしているところを見学でき非常にいい経験となった。

台湾の文化や食が集まっている夜市に行きここでは日本では見られないような様々な食べ物を食べた。一番衝撃的だったのは臭豆腐である。個人的には到底おいしいとは言えないような味だったが台湾の方はおいしいと

言っていたのでやはり国が違えば好みも違ってくるのだと体感した。この日は台湾のボランティアの人たちと多く会話することがありそこで習った台湾語や英語を使い会話できたことが非常に印象にのこった。また、そこで英語力は今後必ず必要になると感じた。

台湾の町並みは日本とは大変違うものでした。一 軒家が少なくアパートやマンションが多くありま た、それらはまばらに建てられており日本とは全 く違う風景でした。







日本で有名なジブリの千と千尋の神隠しのモデルになった kyuhunn に行きました。ここは山の頂上付近にあり 日本では見られないような光景がありました。



ここでは台湾の放射線について学びました。今回 訪問した大学は私たちの大学と関係がありそこに は信頼関係と尊敬の気持ちがありました。

日本の医療、台湾の医療、さまざまの特徴や利点があることが分かった。今回台湾に行けたことでこのような医療のことについて学び知ることができ少し自分の中で視野が広くなりました。

今後は日本国内だけでなく海外にも関心を持たなくてはいけない。

医療科学部 放射線技術学科 2回生 多鹿 涼

私は、8月18日から8月24日の7日間、1回生16人2回生10人の計26人で台湾に行ってきました。



三日目は文化交流、病院見学、Big Cityというスケジュールでした。はじめに、台湾の歌を聞きました。舞台の人が歌うと会場の人達お客さんも最終的に一体となって歌っていて、台湾の人の温かい民族性を感じられました。病院見学では、台湾のなかなかみることができない病院の裏側を見ることが出来ました。デジタル化が進んでいると感じました。最後のBig Cityは台湾に来てはじめての観光でした。ずっと飲みたかったタピオカを飲むことができました。台湾のタピオカは日本でいう二百円くらいで安く買えて日本のよりも黒糖がきいていて甘く弾力があって流石本場だなと思いました。また、Big Cityに入っているお店にくら寿司や丸亀製麵をはじめ日本の店舗を多く見かけたことに驚きました。他にも韓国のものが結構入っていてここでもグローバル化を感じました。

四日目は病院見学スタートでした。この病院は前日行った ところよりも大きいところでした。技師が患者にあてた放射

台湾に到着した翌日の二日目から本格的に 台湾の人達と交流がはじまりました。中国語 講座では日本語にない発音や声調で苦戦しま したが、何度も練習していくうちに学ぶこと が楽しくなりました。自分の名前の中国語の 発音も教えてもらえました。夕方からはスポーツタイムが設けられていました。私は運動 することが好きだから、台湾に来ても日本と 同じようにバスケやバレーができてスポーツ のグローバル化を感じられてとても嬉しかっ たです。



線量まで記録されていたり、交通が整備されていないため夜でも患者数が多かったり、台湾ならではだと思うところがありました。夕方からは夜市に行きました。地下鉄に乗って地下街もみて回りました。この日一番印象に残っているのは食べ物です。夜市は屋台が立ち並んでいて胡椒餅やマンゴーをはじめ食べたもの全て美味しかったです。ただし、臭豆腐を除いて。

五日目は九份や淡水に行ってきました。九份は千と千尋の神隠しの舞台になったところで楽しみにしていた ところでお土産をみながら食べ歩きをしました。小籠包も食べることもできました。

六日目、最後の中国語講座がありました。ぞうさんを中国語で歌ったり、竹を使った昔ながらの遊びをしたりしました。その後の送別会では、歌をうたってくれたり、アニメのアフレコをしてくれたり、台湾の人が作ってくれた動画をみたり、Camp Songを歌ったり、写真を撮りあったりして本当にたくさんの台湾での出来事を振り返りました。

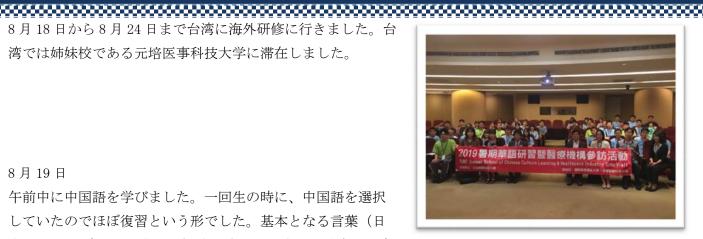
七日目、朝ごはんを食べて空港へ向かいました。台湾の人も見送ってくれました。

この海外語学研修で台湾の文化や人柄、環境、たくさんのことを学べました。また、台湾の人と友達になる ことができました。これらの貴重な経験を大切にし、グローバル化の世の中で生かしていきたいと思いまし た。



医療科学部 放射線技術学科 2 回生 中西

8月18日から8月24日まで台湾に海外研修に行きました。台 湾では姉妹校である元培医事科技大学に滞在しました。



8月19日

午前中に中国語を学びました。一回生の時に、中国語を選択 していたのでほぼ復習という形でした。基本となる言葉(日 本でいう50音のようなもの)や四声という中国語特有の発音

を学びました。日本語ではない発音なのでみんな苦戦していました。

午後からは文化体験で中国ゴマ(ディアボロ)と投げ独楽をしました。初めに元培医事科技大学の学生が中国 ゴマのパフォーマンスを披露してくれました。アクロバティックな技や少し笑えるような面白い技を組み合わ せた見ている人を飽きさせない構成でした。そのあと、実際に回りてみたのですが最初は原理がわからず、ど うしたらいいのかわからなかったですが現地の大学生がやさしく教えてくれたので最終的には回せるようにな り上に投げてキャッチするなどの技もできる人もいました。

その次に投げ独楽をしました。これも最初に先生の実演がありました。その先生は有名な先生でテレビ番組で みやぞんに教えていた人でした。投げ独楽はできる人とできない人の差が激しく、中国ゴマよりも難しいもの でした。

8月20日

中国医学大学病院に見学に行きました。その病院はできて一年目の新しい病 院で、患者の負担が減るような工夫が至る所にありました。日本の病院との 違いを比べようと思ったのですが、日本の病院をあまり知らなかったので比 べられなかったですが、これから実習などで日本の病院に行った際に違いが わかるようにしたいと思いました。

夜は Big city に行きました。そこで台湾のラーメンのようなものを中国語 で注文することができたので、ここでしかできない経験ができました。ゲー ムセンターにも行きました。日本よりも一回のプレイにかかるお金が安く、 しかも日本よりも長くプレイでき、すごく楽しめました。





8月21日

台安病院の近くの出版社に行きました。医療関係の本を書くのに 病院と連携して書いており、実際の医者の意見が反映されている とのことでした。日本語の本もあり様々な言語の本も出版してい るそうです。そのあとに台安病院に行き、見学、説明を受けまし た。その病院の方針で質素な食事というのがあり昼ご飯に病院食 をいただきました。

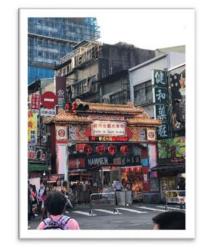
次に夜市に行きました。おいしい ものもたくさんあり、日本の屋台 より少し値段は高かったですがそ

の分の価値はある非常にいいものばかりでした。中には臭豆腐というにおいの きつい食べ物がありました。せっかくなので食べましたが口に入れた途端のに おいがきつく一つ食べるので精一杯でした。



8月22日

午前に九分に行きました。いろいろな店が並んでおり時間がなくてすべて周り切れないほど一つ一つが興味深い店でした。店員には日



本語を話せる人が多く、ボランティアの学生がいなくても周れそうでした。千 と千尋の神隠しの舞台となったところと聞いていたのでその世界観も感じら れ、より楽しめました。

> 午後からは淡水に行きました。いろいろな屋台があったり、寺が あったりして、寺ではボランティアの人に聞き現地のお 祈りの仕方を教えてもらいました。

8月23日

二回目の中国語の授業がありました。中国語の授業なのになぜかバンブーダンスをしました。リズムに合わせて竹の上を飛ぶもので台湾の学生も苦戦する難しいものでした。授業の最後には小手拉大手という曲を教えてもらい、送別会で歌いました。

送別会では、台湾の学生が歌ってくれたり、アニメのアテレコを披露してくれました。私たちも練習していた ダンスをしました。台湾での最後の時間ということもあり、人それぞれの感謝の気持ちを伝えました。

医療科学部 放射線技術学科 2回生 福岡 蓮

8月の18日から25日にかけて、海外語学研修として 台湾にある元培醫時科技大學に行かせていただきました。 研修前は、中国語も英語も苦手なので、不安でしたが参加 してとても大きな経験を得ることができました。実際の中国 語の講義に参加させてもらい、その国の言語をその国で学ぶ というのは、とても新鮮でした。その他には、台湾の遊び で、竹の棒を使い音楽に合わせて、竹の棒をくぐるという遊 びを行いました。日本では、見たことがなかった遊びなので 新鮮でした。日本では食べないご飯や、お茶が甘かったり、 見たことのないものが夜市で売られてたり、食文化の違いも



わかりました。台湾の料理には、「八角」という調味料が色々な料理に入っており、私はこれが本当に苦手でした。これだけは克服できませんでした。だけど日本ではなかなか食べれないのでこれも経験だなと感じました。他に、台湾の病院を実際に見学させてもらいました。様々な機器などを見せていただきました。私はまだ二年生で実習にもいっておらず、知識不足なところがありましたが、丁寧に一つ一つ説明してくださり、とても分かりやすかったです。日本の病院との違いなどを比較しながら見学できて、いい経験になりました。



研修では、ボランティアという台湾の大学生が常にそばにいてくれ案内などをしてくれました。台湾の学生は、とても話しかけてくださり、すぐに打ち解けることができました。彼らは、日本語も英語も上手で、自分の外国語能力の低さを改めて実感しました。時には、通じないこともありましたがジェスチャーや簡単な単語などでコミュニケーションをとることができました。しかし、今よりも外国語を勉強してコミュニケーションを取れるようになりたいと痛感しました。台湾の人は日本のことが好きな人がたくさんいて、とても心が暖かく、優しかったです。

今回の海外研修で一番学べたことは、コミュニケーションの大切さです。台湾の人が本当に優しくてフレンドリーで台湾という国が好きになりました。文化も生活も違ってもこんなに仲良くなれて海外に興味を持つことができました。今回の海外研修で学んだことを生かし語学の勉強に力を入れ、台湾の人のように積極的にコミュニケーションを取れる人になりたいです。さらに台湾だけでなく、他の国にも行き、たくさんの文化に触れたいです。こんなに貴重な体験をさせてもらいありがとうございました。あっという間の一週間でした。この海外研修に参加することができて良かったです。







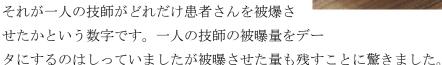
医療科学部 放射線技術学科 2 回生 美藤

今回私達は、台湾の元培醫事科技大學で夏休みの1週間研修 させていただだきました。

台湾では基礎である中国語の勉強から私達が専門とする病院 の見学まで様々な学びがあり貴重な研修に参加することがで きました。私自身は中国語の単位を取っていたこともあり中 国語の講義は日本でやったことを思い出して参加していまし た。

病院見学では2つの病院に連れて行っていただきました。ホ テルのように綺麗にされている病院では外見をそのように美 しくすることで患者さんの恐怖心を拭うことにつながるとい

う病院の方針だったり、患者さんの待ち時間を 少しでも減らすことに重きを置いている病院で はデジタル化が進んでいて日本ではまだみられ ないようなシステムをたくさん見せていただき ました。中でも私が一番画期的に思ったのは、 日本でも放射線の管理は厳重にされておりデー タとして数字で残しますが、その項目のなかに 日本ではないものがありました。





このように日本でもできないような様々な貴重な体験ができたのでこれからの私の人生によりよくこの学びを 活用していきたいです。



